

## 平成30年度 海外インターンシップ報告書

信州大学 工学部 水環境・土木工学科 2年

実習期間	平成 30年 9月 13日(木) ~ 9月 19日(水)	7日間
実習企業	ワールド開発工業株式会社	
実習地	ミャンマー共和国	

## 1. 実習目的

Chapter1 purpose

海外での土木・道路舗装工事における品質管理、施工管理や特殊な機械を使用した舗装材料の試験などを学び、体験することにより、海外における道路舗装の技術を学ぶこと。  
また、現地スタッフとの交流を通じて、英語でのコミュニケーション能力を向上させること。

## 2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

ミャンマー共和国  
採石場：マンダレー  
試験室・オフィス：ヤンゴン

## 3. 実習日程

Chapter3 schedule

実習初日：採石場見学、2日目：試験室・品質管理 見学、3日目：ヤンゴンオフィス 見学、4日目：施工現場・試験室 見学 懇親会、5日目：試験室 配合試験 体験  
7日間のうち前後1日ずつは移動日でした。(移動2日、研修5日)

## 4. 実習内容

Chapter4 laboratory

実習初日：国内便でマンダレーに向かい、道路舗装材料の為の採石場を見学させていただいた。その際に二日目以降の試験室での試験に使用する試料として骨材を採取した。  
2日目：採石場で採取した試料を使用して、粗骨材を鋼球と同時に回転させ、骨材のすり減り量を調べるロサンゼルス摩耗試験と細骨材と粗骨材の比重・吸水率試験を体験した。  
3日目：ヤンゴンでオフィスを見学し、ミーティングに参加させていただいた。  
4日目：骨材の粒度分布や細骨材の粗粒率、粗骨材の最大寸法を求めるふるい分け試験を体験した。その後日本からの援助で建設された、企業が道路舗装を担当した橋梁を見学させていただいた。  
5日目：薄っぺらな石片の含有量試験を体験した。

## 5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

自分が専攻している土木業界の海外での事業を見学させていただいて、普段大学で学んでいる内容が道路建設などのインフラ整備のために必要な知識であることを再確認することができ、学習意欲が向上した。

コンクリートやアスファルトの材料になる骨材の採石現場を見学し試験室で骨材としての適正や強度などを調べる様々な試験を体験することにより、海外でも用いられる日本の道路舗装の技術を学ぶことができた。

英語で現地のスタッフ達とのコミュニケーションをとることにより、英語でのコミュニケーション能力が向上した。

業務中の現地スタッフとの会話で、聞き取れない英単語や知らない単語があったことから、英語力の不足を痛感し、今後の課題を明確にすることができた。

現地の食生活に積極的に触れることにより、ミャンマーの文化や社会情勢について学ぶことができた。

## 6. 今後の課題

Chapter6 problem

7日間のインターンシップを終えて、語学力と専門分野の知識を蓄えることが必要だと感じられた。

専門知識に関して、学問として土木工学を学ぶのみでなく、その技術をどのように活かして構造物の施工管理や生産管理に役出ていくのかを意識して学習していくことが必要だと思った。

語学に関しては、英語の基本的な語彙や文法に加えて、土木工学に関する専門的な用語の知識も重要であり、今後卒業して社会で活躍していくには、これらの知識に加えて実習や実験で培う経験と、社会人としてのマナーを身につけることも必要だと感じた。

業務中、特に英語で会話する場合は、分からないことがあったらすぐに質問して解決することが重要だと感じた。

## 7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

普段の学生生活では経験できないような貴重な経験をさせていただきました。海外での事業に興味がある方は是非参加してみてください。

## 8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

ワールド開発工業株式会社様

先月は7日間のインターンシップに参加させていただき、誠にありがとうございました。

成田空港までの送迎やビザの発行などの実習以外のこともお世話してくださり、道路舗装に関する専門的なお話や、様々な外国での生活について丁寧に教えてくださり本当にありがとうございました。

海外での事業にさらに興味が湧いたので、今後海外で活躍できるようなスキルアップを目標に努力いたします。